

わたせい久居店にて「地域の高齢者さんへ、店舗の貸しセカリをします。」と聞き、取材に行ってきました。

介護施設などに入居されている高齢者や思うように買い物に行けない方たちにわたせいで「ゆくり買い物を楽しんでもらいたい。」という思いから企画し、第2弾は「虫の夢津」さんが参加されました。

第1弾は木原阪店で開催しました！

生活支援
コーディネーター通信
※生活支援コーディネーターは地域のみなさんとともに地域での支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

令和5年
Vol.30 3月24日

わたせいさんは三重県下に8店舗展開中で、普段着や寝装品などを手頃な価格で提供しているお店です！



43名の参加者！
店内1時間貸しセカリ

掘出工房わたせい

いきいきお買い物サポートプロジェクト第2弾！



なかなか難しいことですが、利用者がしたいと思っていることなど、なるべくできるようにサポートしていきたいと思っていました。

「虫の夢津」掘出さん

どこかの施設に限らず、遠くの買い物に行きづらい地域から相談があればいいなと思っています。

曾我社長



自分で手にとって見てから買うということはいくつになってもしたいですね。

身田店 大沢店長



～参加者の声～

- ★「久しぶりに服を見に来た！ #嬉しい。」(施設利用者)
- ★「時間をかけて見るってことが難しいから連れてこれてよかった。」(付き添いの家族)
- ★「息子の服、買ってあげたい。」(施設利用者)

わたせいさんは他にも...

認知症サポーター養成講座の受講でコロナ禍でマスクが無くなった際には家庭で作れるようにマスクの型紙をチラシに載せたり、住民の視点から様々な取り組みをされています。



生活支援コーディネーター



帰り際、素敵な笑顔がたっくん...

生活支援コーディネーターの思い

コロナ禍で外出できない施設利用者がたくさん見えたと思います。ここではもともとある地域資源とニーズがうまく繋がり、お互いの願いを叶えることができたり、貸しセカリに空き時間、待たせていた他のお客様を含め、思いやりあふれるこの取り組みを、これから応援していきたいです。